公益財団法人日本バスケットボール協会

2023 年度 7-6 月期事業方針

2023 年 8 月 25 日に開幕する「FIBA ワールドカップ 2023」を、日本はフィリピン・インドネシアとの共催という初めての形で迎える。2006 年の世界選手権以来の大規模世界大会において、日本代表はパリオリンピックの出場権獲得を目指すと同時に、その活躍を通して未来ある子供たちに夢と希望を与え、日本国民に勇気と感動を与えること、そして新型コロナウイルス感染拡大により、国内外のスポーツを取り巻く環境が大きく変化する中で、「バスケで日本を元気に」を体現し、日本のバスケットボールの価値を向上させるべく、ALL バスケ体制で準備を進め、大会を成功へと導く。

また、女子代表・3x3 代表においても、パリオリンピックに向けて重要な 1 年となり、東京オリンピックに続いての男女 5 人制・3 人制全 4 カテゴリーでの出場権獲得を目指すための強化を進める。アンダーカテゴリーにおいては、U18 日清食品リーグをはじめとする競技環境の充実、一気通貫の指導を通じた次世代の日本代表選手の発掘・育成にも注力する。

他方で、コロナ禍の 3 年間で減少傾向にある競技者登録数の回復・増進に取り組むべく、ファーストスポーツ、生涯スポーツとして選択されるための仕組み作りや、競技からの離脱防止に向けた登録者メリットの創造、更には暴力暴言の根絶に努めるとともに、運動部活動の地域移行や SDGs、ESG などの社会課題と向き合い、デジタル化・情報発信ツールの活用を含めて審判・指導者・協会運営等の「支える人」に向けたサポートの実践により環境整備を図るなど、時代に即しながらも将来を見据えた組織の構築・運営を推し進め、バスケットボールファミリーの拡大に努める。

事業方針

① FIBA ワールドカップ、日本代表を通して、子供たちに夢と希望を与え、日本国民に感動を与えることで、「バスケで日本を元気に」する
② 新規競技者登録の増加、登録の継続、支える環境のサポート・拡充に注力することで、バスケットボール競技者・バスケットボールファミリーの拡大を目指す

重点実施事項

- 男子日本代表および FIBA ワールドカップの機運醸成
- FIBA ワールドカップにおける予算・実施計画通りの遂行
- 2024 年パリオリンピック男女 5 人制・3 人制全カテゴリー出場権獲得に向けた強化活動
- ファーストスポーツ/生涯スポーツとしてのバスケットボール環境の醸成
- バスケットボール環境をささえる、審判・TO・指導者の人材確保・育成
- PBA（都道府県協会）運営補助体制の構築
- 次世代の日本代表となりうる選手の発掘と育成
- 暴力暴言の根絶
- バスケットボールファミリー拡大、業務改善につながる ICT 技術の導入・活用
- 競技環境に付随する社会課題解決への貢献

主要活動

1．関連組織との連携

（1）JBA、PBA、Bリーグ、B3リーグ、WJBL、各種連盟、協力団体等との連携強化

① PBA 連絡会、全国専務理事連絡会等を通じた組織基盤の強化

② 日本社会人バスケットボール連盟（JSB）、全日本大学バスケットボール連盟（JUBF）の事業推進へのサポートおよび組織基盤強化に向けた規程整備の指導等

③ 日本障がい者バスケットボール連盟（JIBF）加盟団体の活動推進および JIBF 事務業務のサポート

④ 協力団体（全国高体連専門部、中体連、専門学校、定通制、高専、スペシャルオリンピックス日本）との定例会議の実施および活動連携協力

⑤ 全国/都道府県アンダーカテゴリー（U12/U15/U18）における活動の推進および会議体の実施

⑥ ブロック協会およびブロック事業における補助および連携強化

（2）登録推進および普及活動

③ 将来の代表およびトップレベル選手の土台構築のため、競技志向の育成世代の指導者へ局面別段階的戦術負荷を周知

① 競技者人口拡大に向けた各カテゴリーの競技環境の再整備

② 普及事業の立案および実施計画の策定

③ 登録制度および D-fund 制度の変更に向けた準備・対応

④ 登録推進に向けた制度等の見直しおよび運用体制/システムの構築

（3）一般スポーツ団体ガバナンスコード対応への指導およびサポート

① PBA、WJBL、B3、JSB、JUBF におけるガバナンスコード対応への指導およびサポート

2．JBA 組織運営

（1）JAPAN BASKETBALL OFFICE の体制構築

① 関係団体間の事務局機能の連携強化、人材の交流促進

② 事務局人材の育成・強化

（2）「JBS2021」の進捗管理と「2030 年 JBA100 周年」に向けたビジョンの策定

① JBS2021 に掲げる目標達成に向けた取り組み

② 経営戦略グループを中心とした、JBS2021 目標達成に向けた横断的かつ包括的な管理・サポート

③「2030 年 JBA100 周年」に向けたビジョン策定

（3）NF 向けスポーツ団体ガバナンスコード対応

① ガバナンスコード適合性審査に向けた対応

（4）SDGs、ESG などの社会課題解決への貢献

3．日本代表関連

2023 年 FIBA ワールドカップ、2024 年パリオリンピック（男女 5 人制・男女 3 人制)に向け、Japan’s Way のアップデートを含めた強化方針をより深く浸透させるため、アンダーカテゴリー代表と A 代表のコーチ・スタッフが連携し、可能性をもった若い選手をトップカテゴリーへ引き上げていく「一気通貫プロジェクト」による中長期的な選手育成・強化体制を構築するとともに、海外ネットワークをより強固にし、日本国籍を有する有望長身選手等の発掘を進める。

（1）A 代表

男子① ワールドカップやパリオリンピックを見据えた一気通貫プロジェクトを基軸とした強化体制の構築

男子② フィジカル強化、スキル強化、サイズアップと国際強化試合の確保

女子① Japan’s Way の考え方を軸にした、メンタル（国際経験）、フィジカル、スキルの強化

女子② 日本国籍を有する海外在住の選手発掘と、帰化許可申請に関する整備の働きかけの継続

（2）アンダーカテゴリー代表

男子① アンダーカテゴリーの指導者育成への注力、国際大会出場による選手の経験値向上

女子① 大型選手の強化、ユーティリティプレーヤーの養成、海外の日本人パスポート保持者のタレント発掘活動

（3）3×3

① 3x3 と 5 人制のトップ選手（帰化選手含む）を共有する強化体制の構築

② 世界のトップチームがひしめく欧州を中心とした強化活動の増加および可能な限りの大会参加の推進

4．国際関連

（1）FIBA/FIBA Asia との連携強化

① FIBA セントラルボード/委員会における議席獲得（任期：2023 年～2027 年）

② 国際移籍/FIBA 公式大会関連等の登録業務の円滑化

③ 男女アジアクラブ選手権構想に向けた連携強化

④ 会議等による情報収集・意見交換等

（2）日本代表チーム支援

① FIBA ワールドカップ 2023 およびパリオリンピックに向けた世界強豪国との強化試合の調整等

（3）他国 NF との連携強化

① 既存のパートナーシップ提携国（ドイツ・オーストラリア）との関係強化

② 新たなパートナーシップ提携国の模索

③ 面会、会議等による交流の推進

（4）FIBA ワールドカップ 2023 に向けた支援

① LOC との連携およびノウハウ共有

（5）国際交流・協力事業に向けた関連団体との連携強化

① スポーツ庁、JOC、JICA との事業展開の検討

② 駐日外国公館との交流

5．育成関連

（1）長期的視野に基づいた年代別育成方針/システムの確立

① 競技志向、レクリエーション志向の二軸で育成世代の在り方の検討

② 育成世代の課題を広く周知し、課題解決へのアクションを検討

③ 将来の代表およびトップレベル選手の土台構築のため、競技志向の育成世代の指導者へ局面別段階的戦術負荷を周知

④ マンツーマン推進において、U12 世代の変更内容を周知

6．指導者関連

（1）コーチ登録者数拡大に向けた施策

① 対象者別（女性コーチ、若手コーチ、アシスタントコーチ）の各施策の検討と推進

② ファーストスポーツ推進（キッズ関連事業、学校体育）に向けた取り組み

③ 都道府県指導者養成委員会の基盤整備および支援・協力体制の構築

（2）コーチライセンス制度の確立と質の向上

① 新たな S 級コーチ養成講習会実施に向けた講習プログラムの構築と実行

② コーチデベロッパーの質の向上と人員確保に向けた取り組み

③ コーチライセンス別の適正なコーチ登録者数の検討および改善に向けた取り組み

（3）指導現場におけるインテグリティの確保

① 再教育プログラムの実施・運営

② 再教育プログラム研修内容の充実

（4）コーチのウェルビーイングを考える機会の創出

① コーチのウェルビーイングに関するアンケートの実施

② ウェルビーイングに関する研修会の実施

（5）コーチングやスキル・戦術など多岐にわたる情報の発信・共有

① リフレッシュ研修会の内容検討・提案

② バスケットボールカンファレンスの実施検討

（6）コーチのコミュニティ形成

① メンター制度の設計と実施

② アシスタントコーチ文化の醸成

③ コーチの指導場所の確保

④ 都道府県におけるコーチカンファレンス（総会）の実施提案

7. 審判関連

（1）審判・審判インストラクターライセンスの国内統一プログラム・カリキュラムの継続構築

① ライセンスに応じた講習会プログラムの継続構築

② 審判員のレベルアップにつながるインストラクターライセンス制度の見直し。インストラクターの指導を通じた競技規則の理解・審判技術の向上

③ 全国統一の評価基準によるライセンス認定、評価の実施

④ A 級・B 級審判員の活躍推進

⑤ 各リーグの将来構想を見越したトップリーグ担当審判員のレベルアップに向けた研修の実施

（2）審判登録者拡大および多様性受容のための施策

① 女性審判員のライフプランに対応した環境整備

② U18 審判員の環境整備

③ 競技者、指導者のライセンス取得推進を通じた競技の理解促進

④ 審判間の相互尊重、審判の役割への尊重推進

⑤ 審判活動の魅力、競技規則の普及と理解促進のための発信（JBA によるウェビナー実施、映像資料の充実）

（3）海外協会とのパートナーシップ提携も踏まえた人材交流の実施

8. 競技運営関連

（1）日本代表戦/各種大会の価値向上および安定的な大会運営

① JBA 主管大会における効率的な大会運営の追求

② FIBA 主催試合の円滑な大会運営の遂行

③ 全日本選手権の各ステークホルダーと連携した露出拡大および大会方式の検討

④ Jr.ウインターカップの安定的な運営

⑤ 全国ミニの競技方法の検討

⑥ U18 日清食品リーグの協賛社・参加校・PBA と連携し革新的な大会運営の実施

⑦ JBA 主管大会のチケット収入の追求と券売プロモーション計画の策定

⑧ JBA 主管大会の戦略的・安定的なベニュー確保

（2）各種大会の管理・サポート業務

① 競技会委員会の機能充実と各種競技会の管理体制の整備

② PBA 競技委員会の活動（要項整備、国内競技会申請の徹底等）に対する支援体制の充実
③ JBA 以外の団体が主管する全国大会（国体、IH、全中等）の運営支援・連携の強化
④ 競技会委員会における競技会カレンダー調整機能の整備
⑤ 競技環境の充実に向けた各種規程の整備

（3）TO/スタッツ/コミッショナーの強化・育成・指導体制の確立（3x3 を含む）

① JBA および都道府県の TO 委員会組織体制の強化
② 全国/ブロックにおける TO インストラクター講習会/研修会の実施
③ 国内 TO ライセンス制度の整備および運用
④ TO マニュアルの整備と全国への浸透
⑤ 2023 年 FIBA ワールドカップに向けた TO/スタッツのメンバーの強化
⑥ 国内主管大会にコミッショナー権限の明確化と設置大会の基準設定
⑦ FIBA TO/スタッツライセンス取得へ向けた仕組みづくり
⑧ 都道府県における TO の普及育成に向けた取り組み

（4）3×3 競技の普及、競技環境の整備および日本代表強化へ繋がる競技大会の実施

① 日本選手権の大会価値向上、PBA における予選大会の開催支援
② 特に若年層（U12、U15、U18）および U23 世代の競技普及に向けた各種活動の強化
③ 競技者数の増加に向けた 3x3 登録制度の具体的方針の策定

9. 広報・プロモーション関連

（1）バスケットボール界全体の露出強化

① 各カテゴリー日本代表の価値向上・露出拡大に努める
② 天皇杯皇后杯、ウインターカップ、U18 日清食品リーグをはじめとする JBA 主催・主管大会の価値向上に努める
③ 3x3 の競技普及および価値向上に向けた広報体制の強化を行う
④ BLG/WJBL/PBA 他、ALL バスケ体制での広報連携を実現する
⑤ FIBA ワールドカップ 2023 成功に向け FIBA および大会 LOC との協働を実施し、機運醸成へ寄与する

（2）バスケットボールの普及振興・競技者登録の推進に寄与する広報活動

① 全国の『する』『みる』『ささえる』『携わる』方々に対する速やかかつ適切な情報の公開・伝達、および満足度向上を図る
② 過去大会の記録等、情報のコンテンツ化を促進する

10. コンプライアンス関連

（1）暴力行為等通報窓口の適正な運営

（2）暴力・暴言・ハラスメント行為等の未然防止と適正な懲罰

① 予防⇒インテグリティ委員会を中心に方針・コンテンツを作成し、暴力・暴言・ハラスメント行為等の抑止につながる各種施策を関連グループと連携して実施する
② 懲罰⇒PBA 等を含めた裁定／規律委員会での懲罰の適正化・迅速化を図る
③ 研修等の実施
⇒PBA 等が主体となり、指導者・保護者向けの研修等を通じてコンプライアンス意識の啓発・醸成を図る

（3）より効力のある関連規程類の整備

11. FIBA ワールドカップ 2023（FBWC2023）関連

（1）FBWC2023 に向け、ステークホルダーと連携して安心安全でかつ沖縄振興に資する大会を実施する

① ステークホルダーと連携した大会運営体制を整備し、実施計画に沿って大会を開催する
② 開催地支援協議会と連携し、FIBA の仕様に従いつつ、日本/沖縄独自の要素を組み込んだ大会を運営する
③ 参加チームを含む大会関係者はもとより、観戦者のセキュリティを考慮した大会を運営する

（2）FBWC2023 の大会価値向上に向けた取り組みを実施する

① FIBA と連携し、協賛料収入や入場料収入の最大化に向けて策定した計画に沿って最終セールスを行う
② 大会認知度向上に向け、メディア・開催地支援協議会・BLG・PBA と連携したプロモーション活動を実施する
③ 大会の VIP や JBA パートナー企業などへのホスピタリティを充実させ、満足感を高める

（3）大会予算の適切な予算管理を行い、大会の総括を行う

① 補助金/助成金の適切な精算作業を行う
② JMC の予算管理、口座資金管理を FIBA とともに適切に行う
③ 大会収支決算書および大会報告書を作成する

以上